

〈特集〉

ちょっと待って！
そのプラスチックも
分別すれば資源になります！



令和7年4月から

プラスチックごみの分別方法が変わります！

1. プラスチックごみを分別するとどうなるの？
2. プラスチックごみを分別しないとどうなるの？
3. 新しい「分別方法」はどうなるの？
今月はこのような疑問について、詳しくお伝えします。



1. 分別する

▶「プラスチック資源」が増える

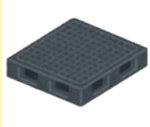
- プラスチックごみの分別は、「燃やすごみ」の減少につながり、二酸化炭素排出量の削減、ひいては地球温暖化対策に貢献します。
- 製品プラスチックを「燃やすごみ」から「プラスチック資源」に分別することで、岡谷市で1年間に出る約40t（ごみ収集車約20台分）の「燃やすごみ」の削減と、約100t（50mプール約20杯分相当）の二酸化炭素排出を抑制できます。

「燃やすごみ」が減る！



1年間で
20台分
=約40t

排出されたプラスチック資源は、
工場で使うパレットや、再生原料
(ペレット)に生まれ変わります。



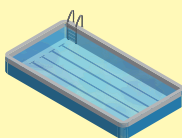
パレット



ペレット

二酸化炭素(CO₂)
の発生をおさえる

1年間で
50mプール約20杯分
=約100t



約20杯分

岡谷市民約16人が1年間に
排出する量と同じ！

地球温暖化防止
2050年
ゼロカーボンへ





地球のことをかんがえよう

プラスチックは、文房具や食器、ペットボトル、家電製品、自動車の内装部品にいたるまで、ありとあらゆるものに使用されています。いまや、プラスチック製品に触れることなく暮らすことはできないというほど、プラスチックは生活に深く浸透し、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

その一方、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会で、天然資源の枯渇や環境汚染など多くの問題に直面しています。家庭から出るごみのうち、資源となるものを有効活用するため、市民のみなさんに、ごみの分別の協力をお願いしています。

近年「プラスチック資源循環法」が制定され、国内で使用済みプラスチックをリサイクルする体制が整いました。家庭での分別は、天然資源の枯渇を防ぎ、未来の暮らしを守ることに繋がります。

岡谷市では、地球温暖化防止を推進するため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言し、この目標に向けてさまざまな取り組みを進めています。

「プラスチック資源の分別収集」は、限りある資源を有効活用し、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けた環境負荷を低減する重要な取り組みです。

未来のわたしたちの生活環境を守るために行動しましょう！



2. 分別しない

▶「プラスチックごみ」が減らない

- プラスチックごみは、わたしたちを取り巻く環境にさまざまな問題を引き起こしています。中でも特に大きな問題が、**海洋プラスチック問題**と、**地球温暖化問題**です。
- 海を汚染する海洋プラスチック問題は、ポイ捨てなど適切に処理されなかったプラスチックごみが海に流れ出し、海洋プラスチックごみとなるのが原因です。地球温暖化問題は、プラスチック製品の製造や廃棄の際に大量の二酸化炭素が排出されることが原因の一つとして考えられています。

海洋プラスチック問題

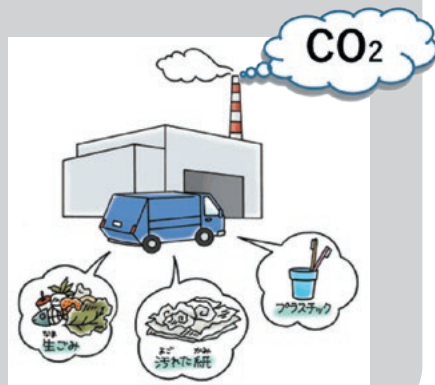
日本周辺の深海に沈むプラスチックごみの量は、**世界平均の27倍**に達しています。このままプラスチックごみの自然流出が続けば、多くの海洋生物の生命が脅かされることとなります。



出典：「図で見る 日本の水産」（農林水産省）(https://www.maff.go.jp/j/pr/annual/pdf/zudemiru_nihonno_suisan_all.pdf)を加工して作成

地球温暖化問題

世界の地上気温は100年で**約1℃上昇**しています。プラスチックごみを今後も焼却処理し続けると、多量のCO₂が放出されるため、地球温暖化の進行に影響を及ぼします。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)
小学生のための環境リサイクル学習ホームページ (<https://www.cjc.or.jp/j-school/a/a-3-5.html>)

3. 新しいプラスチックごみの分別方法

4月からは、これまでの**その他プラスチック**に加えて**製品プラスチック**も**プラスチック資源**として回収します。これにより燃やすごみが減量でき、プラスチックごみの分別が、より簡単になります。



製品プラスチックはココに注意!



製品プラスチックを資源にするためには、注意が必要になります。
3つの注意を確認していきましょう!

1 回収できる条件

- ① **素材**: 全てプラスチック
- ② **大きさ**: 長辺が30cm以下
- ③ **汚れ**: 付着していない

2 大型の製品プラスチックの出し方

長辺が30cmを超えるもの

➡ **サンデーリサイクルデー (無料)** に持ち込んでください。

会場: 西友岡谷北店・南店 駐車場
開催日: 奇数月の最終日曜日
時間: 午後1時～3時

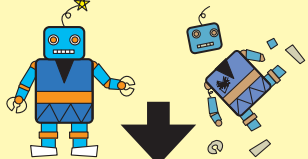
3 出し方の注意事項

長辺が30cmよりも長いプラスチック素材



30cm以下に切断
プラスチック資源

複合製品 (プラ素材と他素材)



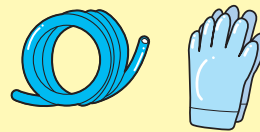
プラスチックだけにして
プラスチック資源

ペットボトル



ペットボトルの収集
ペットボトルについては5Pへ

ゴム製品



燃やすごみ



これは製品プラスチック？
実際の例で確認してみましょう！

製品プラスチックの具体例

※対象は全てプラスチックでできているもの

①日用品



②台所用品・洗面用具



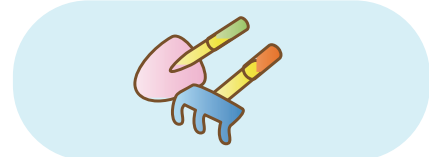
③文房具類



④CD・DVD



⑤プラスチックのおもちゃ

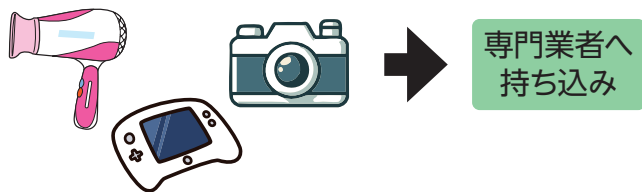


NG!

プラスチック資源として回収できないもの

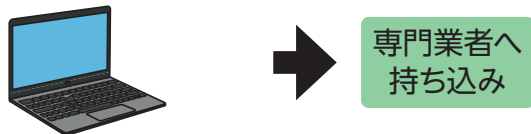
①電子機器(電池や電源を使用するもの)

例) ドライヤー、カメラ、ゲーム機、おもちゃなど



②火災の原因となるおそれがあるもの

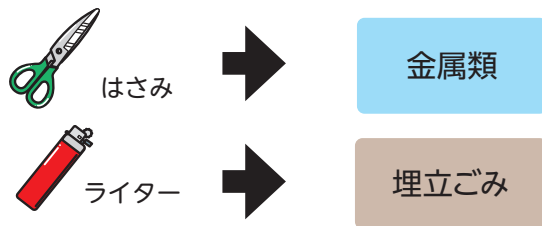
(リチウムイオン蓄電池)



③まな板などの厚さ5mm以上の硬いもの



④プラスチック以外の素材と複合の製品



⑤感染症の恐れのあるもの

(在宅医療などで使用したものを含む)



⑥ペットボトル本体(キャップとラベルは回収対象)



⑦事業活動により発生したプラスチック

プラスチック資源のQ&A

プラスチック資源についての質問にお答えします！



- Q** プラスチックかどうか見分けがつかない物は、プラスチック資源になりますか？
- A** 回収できるのはプラスチックのみです。見分けがつかない物や汚れている物は、燃やすごみに出してください。なお複合製品は、素材ごとに分別してください。
- Q** 今まで利用していた「その他プラスチック」の指定袋は、使用することができますか？
- A** はい、利用できます。
- Q** 容器や袋に貼ってあるラベルやシールは、どうすればよいですか？
- A** 可能な限りはがしてください(一部残っていても回収します)。プラスチック素材のラベルやシールはそのまま出しても大丈夫です。
- Q** プラスチックごみの汚れは、どの程度落とせばよいですか？
- A** 右の画像を参考に汚れを落としてください。
- Q** プラスチックごみの分別について、もっと詳しい説明はありますか？
- A** 市のホームページや岡谷市LINE公式アカウントに、詳しい品目の分別が掲載されていますのでご利用ください。また、下記の日程で説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

どこまで落とす？ プラスチックごみの汚れ



固形物が残っていなければプラスチック資源として出すことができます。



プラスチック
ごみ分別
説明会

湊支所	3/10(月)	午後7時30分～8時30分	講堂
川岸支所	3/11(火)	午後7時30分～8時30分	講堂
長地支所	3/13(木)	午後7時30分～8時30分	講堂
カルチャーセンター	3/16(日)	午前10時～11時	第7研修室



岡谷市LINE
公式アカウント



市の
ホームページ



モデル地区試験回収の結果

令和6年6・7月に市内4地区にて試験回収を行いました。

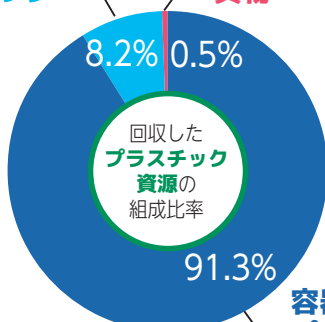
製品プラスチック
として入っていたもの

ハンガー、クリアファイル、
食品保存容器・袋、バンド類など



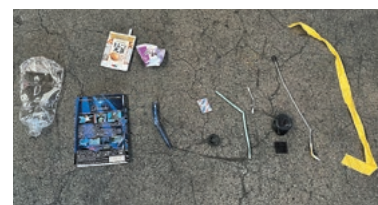
製品プラスチック

異物



異物として入っていたもの
(下線は禁忌物)

紙製容器、ペットボトル、ライター、
注射器、電卓(電池内蔵)など



組成調査
の結果

- 「製品プラスチック」の割合は約8%でした。
 - 異物は全体の0.5%程度でしたが、注射器などの医療系廃棄物や電卓やライターなどの発火の危険がある製品(禁忌物)も混入していました。
 - 禁忌物は絶対に入れないようにしてください。
- ※禁忌物とは、リサイクル原料として適切でない異物のこと。

ペットボトルのリサイクルが変わります！ 環境にもお財布にもやさしいリサイクルをはじめませんか？

令和7年4月から、ペットボトルの「水平リサイクル」が始まります。

これは、環境にやさしいリサイクル方法ですが、ごみを減らすことも大切！
そこで、みなさんにぜひ取り組んでほしいのが「3R」※です。まずはマイボトル
を使い、ごみを減らす(Reduce：リデュース)から始めましょう！

※3R：Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのRの総称です。



マイボトル持ってecoう！

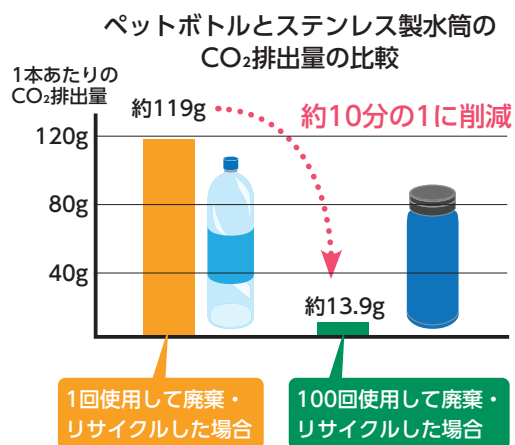
海洋プラスチック問題が深刻化している状況を踏まえ、さらなる
取り組みを進める必要があります。マイボトルを積極的に利用し、
ごみの発生量を減らして海洋環境を保全するとともに、CO₂削減
による「岡谷市ゼロカーボンシティ」の実現をめざしましょう。

お財布にやさしい！

毎日のペットボトル購入をやめて、
マイボトルに変えると
年間約**50,000円**の節約に
なります。

地球にやさしい！

ペットボトルをマイボトル
にすると
CO₂排出量を**88%削減**



ペットボトルの水平リサイクル

サントリーグループは、自治体や事業所から回収したペットボトルから、新たなペットボトルを再生する水平リサイクルに取り組んでいます。水平リサイクルによって、ペットボトルを製造するための新たな化石燃料を使用せず、また、新たなペットボトルを製造する場合に比べ、CO₂の排出量が60%程度削減されるため、循環型社会及び脱炭素社会に大きく寄与します。

岡谷市では、サントリーグループと協定を締結し、市民のみならず、事業者、自治体との三位一体で循環型社会の実現にむけて取り組んでいきます。

「ボトルtoボトル」水平リサイクルの仕組み



問合せ ● 環境課：内線1447・1448